

背景-2) 第5期科学技術基本計画での問題意識

- …AIが搭載されたロボット等による事象に対する責任や、ネットワーク上の個人情報削除する権利の問題など、新たに生じている問題への適切な対応等を進めていく必要がある。
- サイバー空間の急速な発展により新たに生じ得る倫理的・法的・社会的課題に関し、分野横断的・学際的な研究・検討を推進し、制度の検討や技術の研究開発に反映していく。

【社会と科学技術イノベーション政策に関わる意識】

・国や研究者コミュニティの科学技術に関する説明、倫理的・法的・社会的課題対応は不十分との認識。



背景-3) 英米研究組織の取組み状況

- AIの急速発展に対し世界のリーダーたちが懸念を表明。



スティーブン・ホーキング



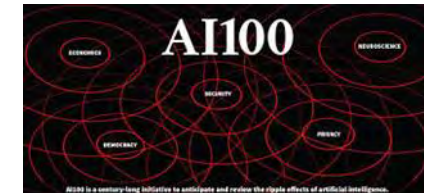
ビル・ゲイツ



イーロン・マスク

- 英米の人工知能に関する研究プロジェクトやセンターは、連携しながら未来社会の在り方について議論を進めている。

江間有沙:「人工知能と未来」プロジェクトから見る現在の課題、人工知能学全国大会2015予稿集



- The Future of Life Institute (FLI)は、Elon Muskの1,000万ドルの寄付によるファンドを立ち上げ(2015年1月)、37の採択プロジェクトによる研究活動を開始。
→「AIをより有能にする研究だけではなく、AIの社会的利益を最大化する研究」
→「社会とAIの両方に関わる研究であるため、必然的に学際的な取組みを求める」

西下佳代 ほか:「人工知能やロボットの社会的影響に関する先行的研究動向」第30回研究・技術計画学会予稿 論文集, 2015

インタビュー結果の概要

- 専門家、有識者によって、「AI等が浸透していく社会」の変化の見方はさまざまである。

小変化
/インパクト小

大変化
/インパクト大

- インタビューさせていただいた72名の方に、「AI等が浸透する社会」についての「変化大⇔変化小」「楽観⇔悲観」のマトリックス空間に、フリーハンドでご自身の認識を描いていただいた(表示は33名分)。
- インタビューイー内訳: 人文・社会科
学者27名、情報科学者19名、民間企業・その他22名

